

2019年（令和元年）11月21日

公益社団法人藤沢市医師会
公益社団法人藤沢市歯科医師会
一般社団法人藤沢市薬剤師会 各位

藤沢市保健所保健予防課

インフルエンザの流行が始まりました

藤沢市では、感染症発生動向調査による、2019年第46週(11/11~11/17)におけるインフルエンザの発生状況が、定点医療機関*あたり1.25人（定点数16か所、患者報告数20人）となり、流行の目安となる基準（定点あたり1.00人）を超え、流行期に入りました。

今後、さらに流行することが予想されます。感染予防対策をお願いいたします。
（※「定点医療機関」定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関（インフルエンザの場合は、16か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者の平均値。

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
42週	10月14日~10月20日	0.72	0.77	0.44
43週	10月21日~10月27日	0.80	0.94	0.50
44週	10月28日~11月3日	0.95	1.21	0.38
45週	11月4日~11月10日	1.03	1.11	0.50
46週	11月11日~11月17日	-	-	1.25（流行開始）

インフルエンザへの対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

◆石けんをよく泡立てて手洗いをしましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。

◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。

◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。

◆体調が悪いときは早めに身体を休め、医療機関を受診しましょう。

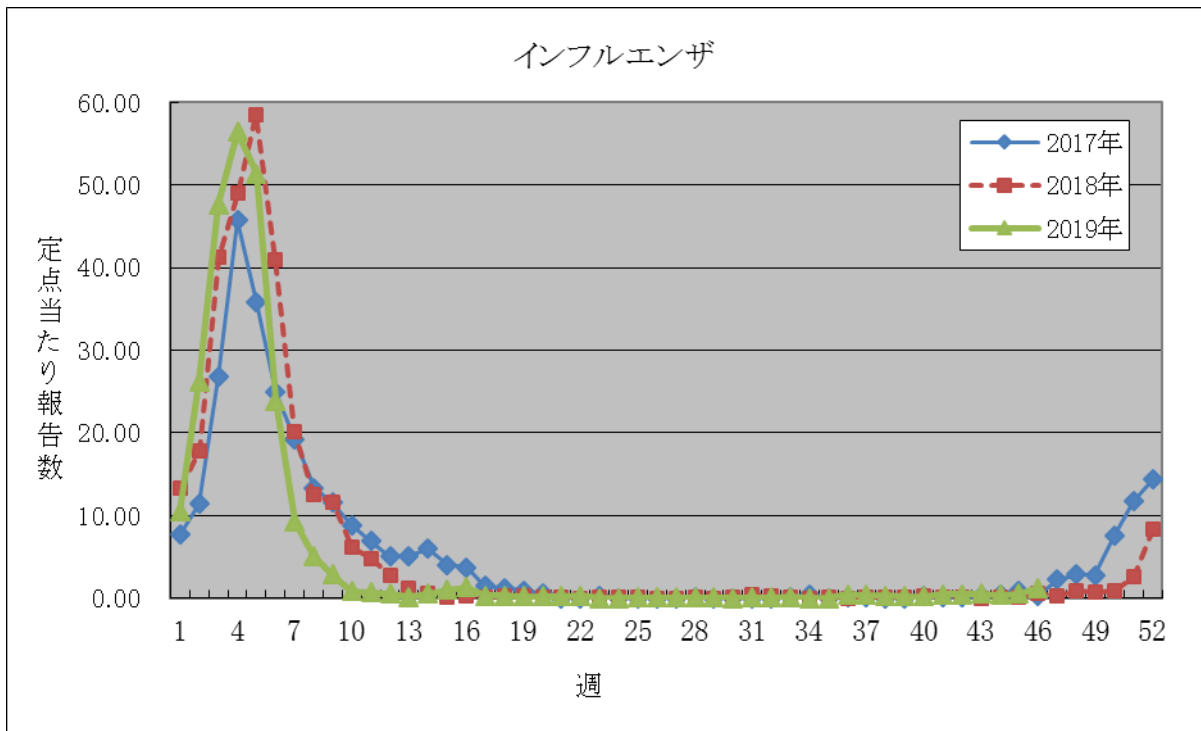
とくに、乳幼児や高齢者、妊婦、持病のある人は重症化しやすいので、容態の変化に注意しましょう。

【注意！】 インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



以上

藤沢市保健所保健予防課
担当：田淵・中村
電話：0466 (50) 3593